

2021年2月28日CS レジューメ (参考資料:「成長」)

CS (教会学校) のみなさま、
おはようございます！今朝もみ言葉と祈りの時を共に持ちましょう！

【テーマ】「安息日の主」

【聖書のみ言葉】

マタイの福音書12:1-8 を読みましょう。

【み言葉の説明】

ある安息日に、イエス様と弟子たちは麦畑を通りました。おなかがすいていた弟子たちは、麦の穂を摘んで食べました。すると、それを見ていたパリサイ人たちは、「あなたの弟子たちが安息日にしてはいけないことをしていますよ」とイエス様に言いました。

安息日とは、神様が世界を造られた七日目に休まれ、ご自身が造ったすべてのものを喜ばれた日です。その後、この日は、すべての仕事を休んで、神様を礼拝する日として定められていました。しかしいつの間にか、「あれをしてはいけない、これをしてはいけない」と人によって細かい決まりが次々に付け加えられ、人々は喜んで神様を礼拝するよりも、決まりに縛られるようになっていったのです。

イエス様は彼らに「昔、ダビデ王は空腹だった時に、祭司以外に食べてはいけない決まりのパンを食べ、家来たちにも与えて命を守りました。神様は決まりより、人を大切にすることを喜ぶのです。」と答えました。そして言いました。「人の子は安息日の主です。」人の子とはイエス様のことです。神の子イエス様こそ、安息日の本当の意味を知っていて、人に真の安息を与えてくださるのです。

【み言葉の適用】

みなさんは毎週日曜日にどんな気持ちで教会に来ていますか？神様を礼拝するのが嬉しいからでしょうか？何となくでしょうか？仕方なくでしょうか？神様は私たちに命を与え、私たちを愛し、私たちのためにイエス様を送って下さいました。神様に心から感謝して礼拝をささげましょう。その心こそ、神様が喜ばれるものなのです。

【お祈り】

神様、イエス様にあつてあなたを心から感謝して礼拝する者とさせて下さい。アーメン。

ありがとうございました！新しい一週間も神様の祝福が豊かにありますように！